





○着任  
法務局首席局員吉村幹三郎四月十四日着任

豫備役海軍中將從三位勳二等功四級船橋善彌本月十四日薨去、來十七日午後二時半ヨリ三時半迄神奈川縣鎌倉町大町名越一二六八自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍大尉正七位勳六等濱浩、海軍大尉正七位勳六等水永利應本月十四日飛行演習中殉職、葬儀ハ十七日午後一時半海軍葬喪令ニ依リ霞ヶ浦海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ執行

○正誤

本月十三日公報令達欄官房第一三〇一號別表六段中「法律第三十四號第三條ニ據リ云々」ハ「法律第三十四號第四條ニ據リ云々」ノ誤

海軍公報 第三七三二號 大正十四年四月十五日

三七一

0411



【馬公】駒橋

□ 樅、梨、竹、榎

□ 潜呂三二、潜呂二九、潜呂三〇

【鎮海】柳

□ 潜呂二三

【統營】檜、桃、陞

【旅順】桐、樟、櫻、橘

【ピレオ】膠州

【大冶】對馬

【漢口】安宅、嵯峨、隅田、勢多

【長沙】鳥羽

【宜昌】比良

【重慶】堅田

【ホノルル】神威

【桑港】早瀬

【航海中】

石廊 (三日舞鶴發「タラカン」へ)

夕張 (六日横須賀發「ボナベ」へ)

佐多 (七日「ヒロ」發「サンペドロ」へ)

鳴戸 (九日横須賀發「桑港」へ)

伏見 (十二日長沙發「宜昌」へ)

大泊 (十二日小樽發「並港」へ)

保津 (十三日上海發「漢口」へ)

驅一五 (十三日佐世保發「若松」へ)

秋風 (十三日佐世保發「青島」へ)

□ 陸奥、山城、日向、扶桑、△ 鬼怒、大井、▷ 天龍

□ 驅一八、驅一六、驅一二、驅一〇、□ 藤、萩、薄

葛、□ 驅六、驅二、驅八、▷ 迅鯨、□ 潜呂五九

潜呂五八、潜呂五七、□ 潜呂五五、潜呂五四

潜呂五六、常磐、□ 掃二、掃三、掃一、若宮、間宮

(十四日大連發「仁川」へ)

□ 霧島、▷ 名取、長良、由良、川内、▷ 五十鈴

□ 波風、沼風、驅一、野風、□ 驅七、驅三、驅五

驅九、□ 太刀風、帆風、羽風、▷ 長鯨、□ 潜呂六〇

潜呂六一、掃呂六二、□ 潜呂二八、潜呂二六

潜伊五一 (十四日大連發「青島」へ)

矢矧 (十四日吳發「長崎」へ)

野島 (十四日徳山發「舞鶴」へ)

松江 (十四日横須賀發「鳥羽」へ)

(部内限二頁)

0413

# 海軍公報

第三千七百三十三號

海軍大臣官房

大正十四年四月十六日(木)

## ○通牒

大正十四年四月十六日

海軍經理學校

在京海軍高等官御中

來ル四月二十二日(水曜日)午前九時築地水交社用「パ  
ラック」ニ於テ第三回海軍臨時講習始業式施行致度候  
間御來臨相成度此段御案内申上候

服裝 武官 軍裝帶勳 壹個

機校第一三號ノ五

大正十四年四月十三日

海軍機關學校練習科長

各所轉長殿

機關工業伎備査定所要材料ノ件

來ル七月施行ノ機關工業伎備査定ニ於テ被査定者一名  
ニ要スル金屬材料左配ノ通ニ有之豫メ準備ノ都合モ

海軍公報 第三七三三號 大正十四年四月十六日

有之ヘク候條爲念  
右通知ス

記

- |        |                                |          |
|--------|--------------------------------|----------|
| 一、鍛冶工業 | 軟鋼 巾一吋 長サ十吋<br>和鋼 巾四分ノ三吋 長サ三吋  | 一個       |
| 二、鋸削工業 | 道具鋼 巾四分ノ三吋 長サ八吋<br>巾四分ノ三吋 長サ八吋 | 一個       |
| 三、機械工業 | 道具鋼 徑四分ノ三吋 長サ八吋                | 一個       |
| 四、鐵鍛工業 | 山形鐵 巾二吋 長サ二十吋<br>巾四分ノ二吋 長サ二十吋  | 一個       |
| 五、銅工業  | 銅板 厚サ六十四分ノ三吋<br>眞鍮針 徑十二分 長サ二十吋 | 一枚<br>一個 |
| 六、鑄造工業 | 青銅材料                           | 若干       |

## ○辭令

海軍中將 男爵 安保 清種  
吳鎮守府司令長官在職中年俸七千圓ヲ賜フ

海軍中將 百武 三郎

三七五

0414

佐世保鎮守府司令長官在職中年俸七千圓ヲ賜フ(以  
上十四日海軍省)

(各通)

海軍大佐 吉田 善吾

海軍機關少佐 小畑 愛喜

第一課勤務ヲ命ス(十四日)海軍省軍務局(十五日)

○ 雜 款

○ 著 任

新海軍次官 大角岑生 四月十五日著任

○ 退 隊、將旗撤去

練習艦隊司令官ハ本月十五日退隊、將旗ヲ撤去セリ

○ 改 姓

海軍少尉小池定雄ハ葛西ト改姓ノ旨本月六日届出タ

0415

○艦船所在

指印△印△ハホホレ  
指定ヲ要セス

○四月十六日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名△、滿州、北上、磐手△、日進、八雲、鳳翔、長門、阿蘇、金剛△

△沙風

瀨風、島風、夕風、白霧、三日月、浦風

△潜波一、潜波二、潜波九、潜波一〇、潜波一三、潜波一一、潜波一二、潜波二〇、潜波二二、潜波二三

△神風、夕立、夕暮、初霜、如月、霧

△洲崎、朝日、武藏、尻矢、富士、青島

【石川島】

驅一三

【横濱】

那珂

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【鳥羽】

松江

【大湊】

矢風、澤風、峯風、沖風

【吳】

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、淀、淺間、韓崎、比叡△

△谷風、菊、江風、葵

△潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、潜波七、潜波八、△潜波五三、潜波五一、△潜波一四、潜波一六、潜波一五、

△潜波一八、

潜波一七、

潜波一九、

潜波六三、

潜波五二、

潜波五三、

潜波二七

△浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、野間、能登呂、室戸、大和、攝津、劍崎、隱戸

△神戶

驅二七

△神通、加古

【大阪】

驅二七

【神戶】

驅二七

【德山】

高崎

【若松】

驅一五

【舞鶴】

吾妻△、利根、春日

【佐世保】

最上△、宇治、出雲、龍田

△山風

海風、檜、榎

△楓

楠、梅、△杉、松、榎、柏

△榎

栗、柿、楡、△蓬、蓮、蓼、△藤、△荻、△葦、△葎、△桑、△椿、△櫻、△榎△

△董

菱、葎、△葎、△桑、△椿、△櫻、△榎△

△驅一七、驅四△

△潜波一、潜波二、潜波二四、潜波二五、潜波三、潜波四、潜波五

△春風

朝風、潮、子日、若葉、初雪、掃四

△敷島△

榛葉△、知床△、鶴見

△古鷹

矢矧

【長崎】

古鷹、矢矧

0416



【馬公】駒橋

□ 樺、梨、竹、桐

□ 潜呂三三、潜呂二九、潜呂三〇

【鎮海】柳

□ 潜呂二三

【統營】□ 檜、桃、櫻

【旅順】□ 桐、樺、櫻、橘

【青島】□ 霧島、▷ 名取、長良、由良、川内、▷ 五十鈴、▷ 長鯨

□ 波風、沼風、驅一、野風、□ 驅七、驅三、驅五、驅九、□ 太刀風、帆風、羽風、秋風、

□ 潜呂六〇、潜呂六一、潜呂六二、潜呂二八、潜呂二六、潜伊五一

【亞港】□ 大泊、膠州

【漢口】▷ 安宅、嵯峨、隅田、勢多

【長沙】□ 鳥羽

【宜昌】□ 比良

【重慶】□ 堅田

【ホノルル】□ 神威

【桑港】□ 早鞆

【航海中】

石廊 (三日舞鶴發)「タラカン」(へ)

夕張 (六日横須賀發)「ボナベ」(へ)

佐多 (七日「ヒロ」發)「サンペドロ」(へ)

鳴戸 (九日横須賀發)「桑港」(へ)

伏見 (十二日長沙發)「宜昌」(へ)

保津 (十三日上海發)「漢口」(へ)

□ 陸奥、山城、日向、扶桑、▷ 鬼怒、大井、▷ 天龍

□ 驅一八、驅一六、驅一二、驅一〇、□ 藤、萩、海

葛、□ 驅六、驅二、驅八、▷ 迅鯨、□ 潜呂五九、

潜呂五八、潜呂五七、□ 潜呂五五、潜呂五四、

潜呂五六、常磐、□ 掃二、掃三、掃一、若宮、間宮

(十四日大連發)「仁川」(へ)

野島 (十四日徳山發)「舞鶴」(へ)

勝力 (十五日宇和島發)「三津濱」(へ)

□ 時津風、磯風、天津風、濱風 (十五日小樽發)「亞

港」(へ)

對馬 (十六日大湊發)「漢口」(へ)

(部内限之頁)

0417

# 海軍公報

第三千七百三十四號

海軍大臣官房

大正十四年四月十七日(金)

## ○令達

官房第一三八一號

大正十四年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十四年四月十七日

海軍大臣 財 部 彪

款	項	目	節	解 疏	會計科目
歳出經常部					會計科目 電信略號
(軍事費)					
	(俸給)	加航 俸海			
		○ 航海加俸 臨時増給		大正十四年 三月勅令第 四三號ニ依 リ給スル分	ハカ
	(雜給及 旅費)	外 國			
○ 辭 令					
	(衣糧 費)				
	(食料)				
		○ 外國在勤者 家族旅費			
		○ 外國在勤者家 族旅費臨時増 給		大正十四年 三月勅令第 四三號ニ依 リ給スル分	トウ
		○ 食料臨時 増給		大正十四年 三月勅令第 四三號ニ依 リ給スル分	チア
		○ 歸郷旅費 臨時増給			右 同 トム
		○ 轉勤輕乘旅費 臨時増給			右 同 トラ
		○ 赴任旅費 臨時増給			右 同 トナ
		○ 出張旅費 臨時増給			右 同 トソ
		○ 外國駐在口旅 費臨時増給			右 同 トワ
		○ 大使館附及公 使館附武官旅 費臨時増給		大正十四年 三月勅令第 四三號ニ依 リ給スル分	トヌ

海軍公報 第三七三四號 大正十四年四月十七日

三七九

0418

○大正十四年四月十五日

任海軍屬 關 孝  
 給九級俸  
 任海軍書記 三好 一司  
 給月俸六拾圓

海軍大臣官房附ヲ命ス 海軍屬 關 孝

海軍大臣官房附ヲ免シ海軍省人事局附ヲ命ス 同 沖村 健次

海軍潜水學校附ヲ命ス(以上<sup>十四日</sup>海軍省) 海軍書記 三好 一司

高等軍法會議判士ヲ免ス 海軍大尉 濱中 匡甫

東京軍法會議判士ヲ免ス(以上<sup>十四日</sup>海軍省) 海軍中佐 阿部 謙一

第一部第一課勤務ヲ命ス 海軍少佐 桑原 虎雄

第二部勤務ヲ命ス 海軍技師 橋本 賢輔

第二部附ヲ命ス 海軍技師 大庭 平一

第二部勤務ヲ命ス(以上<sup>十五日</sup>海軍艦政本部) 海軍技師 萩山 眞造

(各通) 同 脇屋 俊三  
 同 平賀 三郎

第三課勤務ヲ命ス

第二課勤務ヲ命ス(以上<sup>十五日</sup>水路部) 同 佐藤 三保太

○雜款

○第十七驅逐隊(山風、海風、榎)行動豫定

地名	着	發
新舞鶴		五月十九日
隱岐島前	五月二十日	二十日
西保	二十一日	二十一日
三保	二十二日	二十二日
萩	二十三日	二十三日
新舞鶴	二十四日	二十三日

○郵便物發送先

第十七驅逐隊(山風、海風、榎)宛  
 五月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 新舞鶴  
 同 二十三日迄ニ 萩  
 其ノ後ハ 新舞鶴

○殘務整理  
 練習艦隊殘務整理ハ當分ノ間八雲ニ於テ行フ

○退廳

前海軍次官 男爵 安保清種 四月十六日退廳

○滯在地變更

海軍機關少佐 荒木拙三ハ横須賀ヨリ東京へ滯在地變更ノ儀本月十三日認許セラレタリ

海軍軍醫少佐 從六位 日高喜乃夫ハ本月四日上海篠崎病院ニ於テ死去セリ

海軍公報 第三七三四號 大正十四年四月十七日

三八一

0420

○艦船所在

▲印ハハカレ  
指定ヲ要セス

○四月十七日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名▲、北上、磐手▲、日進、八雲、鳳翔、長門、阿蘇、金剛▲

□沙風、瀨風、島風、白露、三日月、浦風

□潜波一、潜波二、潜波九、潜波一〇、

□潜呂一三、潜呂一一、潜呂一二、

□潜呂二一、潜呂二〇、潜呂二二

□神風、夕立、夕暮、初霜、如月、響

□洲崎、朝日、武藏、尻矢、富士、青島

【石川島】

驅一三

【横濱】

那珂

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【下田】

夕風

【大湊】

矢風、澤風、峯風、沖風

【吳】

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、淀、浅間、比叡▲

□谷風、菊、江風、葵

□潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

□潜波七、潜波八、潜波五二、潜波五二、

□潜伊五二、潜呂二七

□浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、

野間、能登呂、室戸、大和、攝津、

【大阪】

劍埼、隠戸

【神戶】

驅二七

【三津濱】

勝力

【別府】

驅一五

【舞鶴】

吾妻▲、利根、春日

【佐世保】

野島

【長崎】

最上▲、宇治、出雲、龍田

【馬公】

古鷹、矢矧

【釜山】

驅一七、驅四▲

□楓、楠、桂、梅、□杉、松、樟、柏、

□桐、栗、柿、榆、□蓬、蓮、蓼、□蔭、

□春風、朝風、潮、子日、若葉、初雪、

□楓、梨、竹、榎

□山、□檜、桃、柳、榎

〔仁〕

〔仁〕川 陸奥、山城、日向、扶桑、鬼怒、大井

〔天龍〕迅鯨、常磐、若宮

〔驅一八〕驅一六、驅一二、驅一〇、〔藤〕

〔萩〕薄、葛、〔驅六〕驅二、驅八、

〔潛呂五九〕潛呂五八、潛呂五七、

〔潛呂五五〕潛呂五四、潛呂五六

〔掃二〕掃三、掃一

間宮

〔旅順〕桐、樺、櫻、橘

〔青島〕霧島、名取、長良、由良、川内、

〔五十鈴〕長鯨

〔波風〕沼風、驅一、野風、驅七、驅三、

〔驅五〕驅九、〔太刀風〕帆風、羽風、

〔秋風〕

〔潛呂六〇〕潛呂六一、潛呂六二、

〔潛呂二八〕潛呂二六、潛伊五一

〔亞〕港 大泊、膠州

〔漢〕口 安宅、嵯峨、隅田、勢多

〔長〕沙 鳥羽

〔宜〕昌 比良

〔重〕慶 壑田

〔タラカン〕石廊

〔航海中〕

夕張 (六日横須賀發「ボナベ」)

佐多 (七日「ヒロ」發「サンペドロ」)

鳴戸 (九日横須賀發「桑港」)

伏見 (十二日長沙發「宜昌」)

保津 (十三日上海發「漢口」)

〔時津風〕破風、天津風、濱風 (十五日小樽發「亞

港」)

瀧州 (十五日横須賀發「ウルシイ」)

對馬 (十六日大湊發「漢口」)

韓崎、〔潛呂五三〕〔潛呂一四〕〔潛呂一六〕〔潛呂二五〕

〔潛呂一八〕〔潛呂一七〕〔潛呂一九〕〔潛呂六三〕 (十六日

吳發「神戸」)

早瀬 (十六日桑港發「ホノルル」)

神威 (十六日「ホノルル」發「ヤルイト」)

高崎 (十七日徳山發「吳」)

松江 (十七日鳥羽發「二見」)

(部内限ナシ)

# 海軍公報

第三千七百三十五號

大正十四年四月十八日(土)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第一三九二號

左記ニ依リ大正十五年四月海軍經理學校選科學生(帝國大學法學部經濟學部若ハ商科大學ニ於テ學習セシムヘキ者)ヲ採用ス

大正十四年四月十八日

海軍大臣 財部 彪

記

一、志願書到達期日(志願書ニハ學習セントスル希望學部名、學名ノ記入ヲ要ス)

大正十四年七月十五日

二、候補者

海軍主計大尉ニシテ任官後一箇年以上ヲ經過シタル者タルヲ要ス、任官後ノ經過年數計算最終期日ハ大正十四年十一月三十日トス

右告達ス

海軍公報 第三七三五號

大正十四年四月十八日

三八五

官房第一三九二號ノ二

左記ニ依リ大正十四年十二月海軍經理學校選科學生(工廠經理者ハ軍需品經理ヲ專修セシムヘキ者)ヲ採用ス

大正十四年四月十八日

海軍大臣 財部 彪

記

一、志願書到達期日(志願書ニハ專修セントスル希望科目ノ記入ヲ要ス)

大正十四年七月十五日

二、候補者

海軍主計少佐又ハ主計大尉主計大尉ノ志願者ハ任官後三箇年以上ヲ經過シタル者タルヲ要ス任官後ノ經過年數計算最終期日ハ大正十四年七月十五日トス

右告達ス

## ○通牒

0423

經豫第二四一號

大正十四年四月一日

海軍省經理局長 深水貞吉

關係各廳長殿

大正十一年八月七日經豫第三六一號國有財産法ニ依リ新ニ工作物トシテ整理ヲ要スルモノノ修繕費ノ件ハ之ヲ廢止ス  
右通牒ス

參照 國有財産法ニ依リ新ニ工作物トシテ整理ヲ要スルモノノ修繕費ハ當分ノ間從來通り當該物品費ヲ以テ支辨スル儀ナリ

○辭令

第一課附ヲ命ス(十四日)海軍省人事局) 海軍屬 沖村 健次

第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 片桐 英吉

第二課勤務ヲ命ス(以上十四日)海軍省教育局) 海軍機關少佐 小畑 愛喜

第五部勤務ヲ命ス(十四日)海軍艦政本部) 海軍技手 眞鍋 威敬

研究部附ヲ命ス(十四日)海軍技術研究所) 海軍技手 立川 隆

○雜款

○司令驅逐艦變更  
第二十七驅逐隊司令ハ本月八日司令驅逐艦ヲ葦ヨリ巖ニ變更セリ

○司令潜水艦變更  
第十六潜水隊司令ハ本月十六日司令潜水艦ヲ呂號第十八潜水艦ヨリ呂號第十七潜水艦ニ變更セリ

○監督官異動

出張地方	職	官	氏名
大阪	造船監督官兼造兵監督官 <small>(首席)</small>	海軍造機大佐	吉原 重時
神戸	造船監督官	海軍機關中佐	白倉政太郎

○出發  
歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍造兵大尉千藤三千造ハ來ル四月三十日神戸出帆ノ諏訪丸ニテ出發ノ豫定



漏

○着任

建築局首席局員 山内彌次郎 四月十五日着任

○著任、退廳

新 海軍軍令部長 鈴木貫太郎 四月十七日着任  
前 海軍軍令部長 山下源太郎 同日退廳

退役海軍主計中佐從五位勳四等笠松千代治本月十六日卒去、明十九日午後一時ヨリ三時迄府下澁谷町大字中澁谷三九六番地自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

○正誤

本月十三日公報通牒欄水路部通牒中「官房第五號」ハ「官房第八五號」ノ誤

本月十七日公報令達欄官房第一三八二號食料臨時増給電信略號「チア」ハ「チオ」ノ誤

海軍公報 第三七三五號 大正十四年四月十八日

三八七

0425

○ 艦船所在

▲印ハハハハ  
指定ヲ更セヌ

○ 四月十八日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、棟名▲、北上、磐手▲、日進、八雲、鳳翔、長門、阿蘇、金剛▲、沙風、灘風、島風、夕風、白雲、三日月、浦風

潜水一、潜水二、潜水九、潜水一〇、潜水一三、潜水一四、潜水一五、潜水一六、潜水一七、潜水一八、潜水一九、潜水二〇、潜水二一、潜水二二、潜水二三、潜水二四、潜水二五、潜水二六、潜水二七、潜水二八、潜水二九、潜水三〇、潜水三一、潜水三二、潜水三三、潜水三四、潜水三五、潜水三六、潜水三七、潜水三八、潜水三九、潜水四〇、潜水四一、潜水四二、潜水四三、潜水四四、潜水四五、潜水四六、潜水四七、潜水四八、潜水四九、潜水五〇、潜水五一、潜水五二、潜水五三、潜水五四、潜水五五、潜水五六、潜水五七、潜水五八、潜水五九、潜水六〇、潜水六一、潜水六二、潜水六三、潜水六四、潜水六五、潜水六六、潜水六七、潜水六八、潜水六九、潜水七〇、潜水七一、潜水七二、潜水七三、潜水七四、潜水七五、潜水七六、潜水七七、潜水七八、潜水七九、潜水八〇、潜水八一、潜水八二、潜水八三、潜水八四、潜水八五、潜水八六、潜水八七、潜水八八、潜水八九、潜水九〇、潜水九一、潜水九二、潜水九三、潜水九四、潜水九五、潜水九六、潜水九七、潜水九八、潜水九九、潜水一〇〇

【石川島】

那珂

【横濱】

【浦賀】

阿武隈、驅一

【大湊】

矢風、澤風、峯風、沖風、明石、千歳、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、淀、淺間、勝力、比叡▲

【谷風】

菊、江風、葵

潜水三、潜水四、潜水五、潜水六、潜水七、潜水八、潜水五二、潜水五三、潜水五四、潜水五五、潜水五六、潜水五七、潜水五八、潜水五九、潜水六〇、潜水六一、潜水六二、潜水六三、潜水六四、潜水六五、潜水六六、潜水六七、潜水六八、潜水六九、潜水七〇、潜水七一、潜水七二、潜水七三、潜水七四、潜水七五、潜水七六、潜水七七、潜水七八、潜水七九、潜水八〇、潜水八一、潜水八二、潜水八三、潜水八四、潜水八五、潜水八六、潜水八七、潜水八八、潜水八九、潜水九〇、潜水九一、潜水九二、潜水九三、潜水九四、潜水九五、潜水九六、潜水九七、潜水九八、潜水九九、潜水一〇〇

浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、蘭開、龍登呂、室戸、大和、攝津、

海軍公報 第三七三五號

大正十四年四月十八日

三六九

【大阪】

劍埼、腰月、高崎

【神戸】

驅二七、神通、加古

【宇島】

驅一五、吾妻▲、利根、春日

【舞鶴】

吾妻▲、利根、春日

【佐世保】

最上▲、宇治、出雲、龍田

【西月崎】

矢矧

【長崎】

古鷹

【馬公】

駒橋

【釜山】

樅、檜、桃、楳

0426

〔仁川〕

□潜呂二三  
▷天龍、▷迅鯨、常磐、若宮  
□驅一八、驅一六、驅一二、驅一〇、□藤  
萩、薄、葛、□驅六、驅二、驅八、  
□潜呂五九、□潜呂五八、□潜呂五七、  
□潜呂五五、□潜呂五四、□潜呂五六

□掃二、掃三、掃一

間宮

〔旅順〕□桐、樺、櫻、橘  
〔青島〕□霧島、▷名取、長良、由良、川内、  
▷五十鈴、▷長鯨

□波風、沼風、驅一、野風、□驅七、驅三、  
驅五、驅九、□太刀風、帆風、羽風、  
秋風、  
□潜呂六〇、□潜呂六一、□潜呂六二、  
□潜呂二八、□潜呂二六、□潜呂五一

〔南洋群島〕

夕張、磯風、天津風、濱風

〔モシヤ〕

□時津風、大泊、膠州

〔亞港〕

▷安宅、蟻峨、隅田、保津

〔漢口〕

鳥羽

〔長沙〕

比良、伏見

〔宜昌〕

壘田

〔重慶〕

佐多

〔航海中〕

鳴戸 (九日横須賀發—桑港へ)  
滿州 (十五日横須賀發—「ウルシイ」へ)  
對馬 (十六日大治發—漢口へ)

韓崎、□潜呂五三、□潜呂一四、潜呂一六、潜呂一五、  
□潜呂一七、潜呂一八、潜呂一九、潜呂六三 (十六日  
吳發—神戸へ)

早鞆 (十六日桑港發—「ホノアル」へ)  
神威 (十六日「ホノアル」發—「ヤマト」へ)  
松江 (十七日鳥羽發—二見へ)

勢多 (十七日漢口發—上海へ)  
柳 (十七日釜山發—佐世保へ)  
石廊 (十七日「タラカン」發—徳山へ)

(部内限一頁)

# 海軍公報

第三千七百三十六號

海軍大臣官房

大正十四年四月二十日(月)

## ○令 達

官房第一三五六號

大正十三年官房第一九六三號、同第一九六四號及同第一九六五號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ適用ス但シ海軍臨時増給支給規則ニ定ムル増給ノ額本令ニ依リ支給スル額ヨリ少キトキハ大正十四年三月三十一日迄其ノ差額ヲ支給ス

大正十四年四月十六日

海軍大臣 財 部 彪

參照 大正十三年官房第一九六三號、同第一九六四號ハ海軍外國旅費規則第二表ノ給額ニ關スル件、官房第一九六四號ハ海軍給與令施行細則第一表ノ給額ニ關スル件ナリ

官房第一四一〇號

來ル四月二十七日ヨリ同二十九日迄靖國神社臨時大祭

海軍公報 第三七三六號 大正十四年四月二十日

舉行相成候ニ付同二十八日各艦船部隊學校等ニ於テハ例大祭當日ニ準シ遙拜式ヲ行フヘシ

大正十四年四月二十日

海軍大臣 財 部 彪

官房第一四一一號

大正十四年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十四年四月二十日

海軍大臣 財 部 彪

歳出經常部

款	項	目	節	解 疏	會計科目 電信略號
(海軍本省)	(俸給)	(奏任給)			
		○ 出 仕			
(軍事費)	(雜給及 雜費)	(外國在勤者 家族旅費)			
		○ 出 仕			
		(外國在勤者 家族旅費)			
					トコ

0428

官房第一四一二號

希國領海内ニ於ケル外國軍艦ニ依ル無線電信ノ使用ニ  
關シ在希臘國奧山公使ヨリ別紙同大統領令送付越タイ  
旨外務省ヨリ通牒ニ接セリ此ノ旨心得ヘシ

大正十四年四月二十日

海軍大臣 財部 彪

海軍諸例  
別登載

(別紙)

希國領海内ニ於ケル外國軍艦ニ依ル  
無線電信使用ニ關スル同大統領令

希國大統領ハ海軍大臣ノ申請ニ基キ本令ヲ裁可公布ス  
第一條 希國軍港若ハ希國海軍基地境域内又ハ其ノ附  
近泊地ニ碇泊中ノ外國軍艦ハ其ノ無線電信又ハ無線  
電話ノ使用ニ當リテハ海軍基地又ハ軍港ノ長官ニ對  
シ豫メ使用スヘキ電波ノ種類及波長並所要送信時間  
ヲ申告シ其ノ許可ヲ請求スルヲ要ス  
第二條 軍港ニ近接セサル一切ノ希國海地ニ在ル外國  
軍艦ハ左記規定ヲ遵守スルヲ要ス  
一 遭難信號ノ送信又ハ右信號ニ對スル返信ノ場合  
ヲ除ク外六百米以上ノ波長ヲ使用スヘカラス  
二 政府ノ常設又ハ假設ノ無線電信局ノ送信中ハ送  
信スルコトヲ得ス  
三 左記ノモノヨリ要求アル場合ハ送信ヲ中止スル  
ヲ要ス

- A 一切ノ海上官憲
  - B 一切ノ港灣官憲
  - C 一切ノ常設海岸無線電信局
  - 四 信文カ全然連續セサル場合ニ於テハ引續キ呼出  
ヲ行フコトハ之ヲ避クルヲ要ス
  - 五 希國軍艦カ同一泊地ニ在ル場合ハ指揮官ノ許可  
ヲ受クルヲ要ス
- 海軍大臣ハ本令ノ公布施行ニ任ス

千九百二十四年十月二十五日 於「アテネ」

大統領 Paul Gondromiotis 署名  
海軍大臣 G. Roussos 副署

官房第一四一三號

大正六年七月三日官房第二二二六號工業用機械ノ整理  
區分別表中左ノ通改正ス

大正十四年四月二十日

海軍大臣 財部 彪

補助裝置乙計測用試驗機械類摘要中「或ハ人力ニ依リ  
作動スルモノ並ニ動力ヲ有スルモ三馬力未満ノモノヲ  
除ク」ヲ「ニシテ据付ニ基礎ヲ要セサルモノハ之ヲ除  
ク」ニ改ム

(會計法規下卷 二三頁參照)

○通牒

經給第二十七號

大正十四年四月十六日

海軍省經理局長 深水貞吉

關係各廳御中

臨時增給支給ニ關スル件

達第五十七號臨時增給支給規則第三條ニ依ル航海加俸ハ第一遣外艦隊所屬艦船ニ在リテハ揚子江流域ニ在ル間之ヲ支給相成差支無之候  
右通知ス

○辭令

海軍經理學校ニ於ケル法學通諭並國

際公法教授囑託

百四十圓

中村 進午

海軍經理學校ニ於ケル會計並財政學

教授囑託

八十圓

黒田 英雄

海軍經理學校ニ於ケル佛語學教授囑託

六十圓

岡野 馨

同

五十圓

瀧村 立太郎

海軍經理學校ニ於ケル獨逸語學教授囑託

六十圓

小笠原 稔

自今報酬金(各頭書ノ通)圓ヲ贈與ス(海軍省)

海軍武功調査委員長ヲ命ス 海軍大將 鈴木 貫太郎

海軍武功調査委員長ヲ命ス 海軍中將 大角 岑生

海軍武功調査委員ヲ命ス 大正三年乃至九年戰役從軍記章授與調査委員長ヲ命ス

大正三年乃至九年戰役從軍記章授與調査委員長ヲ命ス

戰捷記章授與調査委員長ヲ命ス 海軍少將 清水 得一

海軍生徒採用試験委員ヲ命ス 海軍中佐 片桐 英吉

海軍學生銓衡委員ヲ命ス 海軍學生徒採用試験常置委員ヲ命ス

海軍三笠記念調査會委員ヲ命ス(海軍省)

第二課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)

(各通) 海軍中佐 中島 隆吉

海軍經理學校第三回臨時講習事務ヲ囑託ス 突戸 助一

但シ報酬月額七拾圓ヲ贈與シ部内限判任官ヲ以テ 近藤 吉治

待遇セラル(海軍經理學校)

0430

○雜款

○第二十四驅逐隊(桃、柳、檜、樫)行動豫定

地名	着	發
鎮海	四月二十五日	四月二十五日
巨文島	四月二十六日	四月二十六日
八口浦	四月二十六日	四月二十七日
仁浦	五月二十八日	五月二十七日
鎮南浦	五月二日	四月四日
新義州	五月五日	四月七日
鎮海	五月九日	五月七日

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部宛

當分ノ間

横須賀

陸奥宛

四月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

横須賀 佐世保

山城、第一潜水戰隊司令部、迅鯨、第六潜水隊(潜呂五七、潜呂五八、潜呂五九)、第四潜水隊(潜呂五四、潜呂五五、潜呂五六)、第一掃海隊(掃一、掃二、掃三)宛

當分ノ間

横須賀

扶桑、第三戰隊司令部、鬼怒、大井、第一水雷戰隊

司令部、天龍、第十三驅逐隊(驅二、驅六、驅八)、第十六驅逐隊(驅十、驅十二、驅十六、驅十八)、第十五驅逐隊(萩、薄、藤、葛)、間宮宛

當分ノ間

吳

日向、常磐、若宮宛

當分ノ間

佐世保

第二十四驅逐隊(桃、柳、檜、樫)宛

四月二十五日以後

鎮海留置

○選修學生採用試驗

第三期選修學生採用學術試驗問題四月十八日發送濟試驗施行期日 五月四日、五月五日、五月六日 (海軍軍醫學校)

○出發

歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍軍醫中佐眞下綠三郎ハ來ル五月二日午前九時十分東京驛發、同日横濱出港ノ春洋丸ニテ出發ノ豫定

○滯在地變更

海軍軍醫大尉野崎貞固ハ佐世保ヨリ東京へ滯在地變更ノ儀四月十八日認許セラレタリ

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月二十日午前十時調

【機須賀】 加賀、千早、筑摩、櫻名、北上、磐手、

【對馬】 日進、八雲、鳳翔、長門、阿蘇、金剛、

【亞細亞】 沙鷹、瀧風、島風、夕風、白露、三日月、

【南洋】 浦風、

【南洋】 潛波一、 潛波二、 潛波九、 潛波一〇、

【南洋】 潛波三、 潛波四、 潛波五、 潛波六、

【南洋】 潛波七、 潛波八、 潛波五二、 潛波五三、

【南洋】 潛波五二、 潛波五三、

【南洋】 浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、

【南洋】 野間、能登呂、室戸、大和、播磨、

【函館】 矢風、澤風、峯風、沖風

【伊勢】 明石、千歳、木曾、球磨、多摩、平戸、

【伊勢】 伊勢、淀、淺間、勝力、比叡、

【伊勢】 伊勢、菊、江風、葵、

【伊勢】 伊勢、菊、江風、葵、

【伊勢】 伊勢、菊、江風、葵、

【大阪】 劍崎、腰戸、高崎

【神戶】 驅二七

【神戶】 神通、加古、韓崎

【神戶】 潛呂三一、 潛呂六四、 潛伊一、 潛伊二、

【神戶】 潛呂六八、 潛呂五三、 潛呂一四、

【神戶】 潛呂一六、 潛呂一五、 潛呂一八、

【神戶】 潛呂一七、 潛呂一九、 潛呂六三

【神戶】 吾妻、利根、春日

【佐世保】 最上、宇治、出雲、龍田

【佐世保】 楓、楠、桂、梅、杉、松、桐、柏、

【佐世保】 榎、栗、柿、檜、蓮、蓮、菱、

【佐世保】 榎、栗、柿、檜、蓮、蓮、菱、

【佐世保】 榎、栗、柿、檜、蓮、蓮、菱、

【西戶崎】 數島、襟裳、知床、鶴見

【長崎】 矢矧

【長崎】 古鷹

【馬公】 駒橋

【高雄】 潛呂三三、 潛呂二九、 潛呂三〇

【鎮海】 榎、梨、竹、榎

【鎮海】 榎、梨、竹、榎

【鎮海】 榎、梨、竹、榎

【鎮海】 榎、梨、竹、榎

【鎮海】 榎、梨、竹、榎

【鎮海】 榎、梨、竹、榎

【鎮海】 榎、梨、竹、榎

0432



〔仁川〕陸奥、山城、日向、扶桑、鬼怒、大井、

天龍、迅鯨、常磐、若宮

驅一八、驅一六、驅一二、驅一〇、驅八、

萩、薄、萬、驅六、驅二、驅八、

潛呂五九、潛呂五八、潛呂五七、

潛呂五五、潛呂五四、潛呂五六

掃二、掃三、掃一

間宮

〔旅順〕樺、櫻、橘

〔青島〕霧島、名取、長良、由良、川内、

五十鈴、長鯨

波風、沼風、驅一、野風、驅七、驅三、

驅五、驅九、太刀風、帆風、羽風、

秋風、

潛呂六〇、潛呂六一、潛呂六二、

潛呂二八、潛呂二六、潛伊五一、

〔南洋群島〕夕張、磯風、天津風、濱風

〔モンヤ〕時津風、

〔亞港〕大泊、膠州、

〔漢口〕安宅、嵯峨、隅田、保津

〔長沙〕鳥羽

〔宜昌〕比良、伏見

〔重慶〕堅田

〔サンポルト〕佐多

〔航海中〕

鳴戸 (九日横須賀發—桑港へ)

満州 (十五日横須賀發—「ウルシイ」へ)

對馬 (十六日大湊發—漢口へ)

早瀬 (十六日桑港發—「ホノルル」へ)

神威 (十六日「ホノルル」發—「ヤルト」へ)

松江 (十七日鳥羽發—二見へ)

勢多 (十七日漢口發—上海へ)

石廊 (十七日「タラカン」發—徳山へ)

山風、海風、榎 (十九日舞鶴發—隠岐島前へ)

野島 (十九日舞鶴發—佐世保へ)

(部内限一頁)

0433

海軍公報附錄

大正十四年四月二十日(月) 海軍大臣官房

大正十四年四月二十日

左記要領ニ依リ第三回臨時講習ヲ實施ス

- 一、講習ノ目的 退職士官ヲシテ法制經濟及產業一般等社會生活ニ必要ナル概括的智識ヲ修得セシムルモノトス
  - 二、講習主宰者 海軍經理學校長
  - 三、講習開始期及期間 大正十四年四月二十二日開始シ其ノ期間ハ約三ヶ月トス
  - 四、講習場所 築地水交社用、バラック
  - 五、講習科目、時數、講師及講義時期ヲ別表ノ通定ム
- 但シ時宜ニ依リ多少變更スルコトアルヘシ

(別表)

第三回臨時講習各科目講習豫定表

講習科目	時期	時數	講師氏名	住所 (電話番号)
憲政之運用	自四月二〇至七月二〇	二〇	貴族院議員法學博士 馬場鉄一	本郷區丸山福山町三(小石川八八)
社會學	自五月三〇至七月三〇	三〇	衆議院議員文學博士 建部 遜 吾	千駄ヶ谷九〇二 (四谷八六)
經濟及財政	自五月二〇至七月二〇	二〇	法學博士 小林丑三郎	本郷區曙町一三(小石川八〇七)
歐米財界事情	自五月一〇至七月一〇	一〇	海外駐劄財務官 森 賢 吾	麴町區下二番町五九 (四谷一八八一)
社會事業及勞働運動史	自六月一五至七月一五	一五	社會局長官 長岡隆一郎	芝區白金三光町四二九 (高輪三四五五)
植民政策	自六月四至六月二〇	四	外務省參事官 永井柳太郎	豐多摩郡戸塚一〇六五 (牛込二七四三)
工業行政	自六月二〇至七月二〇	二〇	東京帝國大學教授 法學博士 渡邊 鐵 藏	赤坂區青山南町一ノ二七 (青山三八三)
都市行政	自四月四至六月四	四	都市計畫委員 法學博士 波邊 鐵 藏	府下大井町山中四三三三
商業實踐	自五月二〇至七月二〇	二〇	商學士 和田 清	府下大井町山中四三三三
農村問題	自五月六至五月二〇	六	農林省農務局長 石 黒 忠 篤	牛込區揚場町一七(牛込四九一)
取引所	自五月一〇至五月二〇	一〇	東京株式取引所理事 長 滿 欽 司	豐多摩郡西大久保四一〇 (四谷七〇四)
商法ニ關スル特別講義	自五月六至五月二〇	六	貴族院議員法學博士 松 本 蒸 治	荏原郡大井町二九五六 (高輪六〇六)
保 險	自六月二〇至七月二〇	二〇	東京帝國大學教授 法學博士 森 莊 三 郎	牛込區市ヶ谷仲町三〇 (牛込二九三〇)
民事訴訟及破産	自五月六至五月二〇	八	東京帝國大學教授 法學博士 加藤 正 治	麴町區元園町一ノ三 (四谷五二三八)
刑 事 訴 訟	自四月一五至六月一五	一五	大審院檢事 小 原 直	牛込區市ヶ谷富久町六〇
恩 給 制 度	自四月六至五月六	六	法制局參事官 樋 貝 詮 三	豐多摩郡千駄ヶ谷五一 (青山一八五)
醫 察 制 度	自五月一〇至五月二〇	一〇	內務省警保局長 高 橋 雄 豹	麴町區道三町二官舎 (牛込五九一五)
工場法	自六月一六至六月二六	一六	社會局監督課長 吉 阪 俊 藏	豐多摩郡大久保百人町三一七 (四谷二二〇)
信 託 業	自六月六至六月二六	四	大藏省主稅局長 黒 田 英 雄	本郷區駒込追分町二六 (小石川四八〇〇)
商 事 行 政	自七月四至七月二四	四	前農商務省商務局長 松 村 眞 一 郎	麴町區上二番町三九 (四谷三二二)
國 債	自四月六至四月二六	六	大藏省文書課長 青 木 得 三	豐多摩郡千駄ヶ谷五六二 (青山一八〇五)
經濟時事問題	自六月四至六月二四	四	法學博士 岡 實	芝區白金三光町二七六 (高輪五五四五)
鐵 鋼 問 題	自五月二四至六月二四	四	海軍造兵 工學博士 野 田 鶴 雄	豐多摩郡代々幡代々木山谷一八五 (四谷一〇五〇)
住 宅 建 築	自六月二二至七月二二	二二	海軍技師 住 木 直 二	市外下目黒九〇八
産 業 組 合	自六月六至六月二六	六	中央産業組合理事長 西 垣 恒 矩	市外品川町南品川宿三ツ木八七五 (高輪四五三二)
兒 童 教 育	自七月一〇至七月二〇	一〇	東京高等師範學校教授 日 高 權 一	府下荏原郡池上村市ノ倉宮下三三
國 字 問 題	自七月四至七月二四	四	東京高等師範學校教授 保 科 孝 一	麴町區土手三番町三六 (四谷四四三六)
國 際 聯 盟	自五月六至五月二六	四	慶應大學教授 法學博士 林 毅 陸	府下下濠谷一八四三 (高輪五七四五)
茶 養 問 題	自四月六至四月二六	六	榮養研究所 醫學博士 佐 伯 矩	荏原郡池上村市ノ倉四一八 (大森八七五)
支 那 事 情	自五月一〇至五月二〇	一〇	東京日日新聞社囑託 小 村 俊 三 郎	府下幡ヶ谷一〇
佛領印度支那事情	自四月四至四月二四	四	佛領印度支那協會專務理事 松 木 幹 一 郎	府下下濠谷六四(青山三九七〇)
園 藝	自六月一〇至七月一〇	一〇	農學博士 恩 田 鐵 彌	豐多摩郡千駄ヶ谷原宿一〇五
養 雞	自六月一〇至七月一〇	一〇	農林省技師 萩 原 久 太	千葉縣千葉郡都村畜産試驗場

備考 一、本表中一部ノ科目ニハ速記ヲ附シ後日講義録トシテ發行ス

一、右ノ外時々會社、工場其ノ他參考トナルヘキ施設ニ就キ實地見學ヲナサシムルコトアルヘシ

# 海軍公報

第三千七百三十七號

大正十四年四月二十一日(火)

海軍大臣官房

## ○辭令

○大正十四年四月二十日  
任海軍屬  
給四級俸

海軍書記 坂藤 清

(各通)

池田 九一  
堀越 九一  
黒田 拾三  
近藤 俊雄  
岩田 貞夫  
濱崎 諒

海軍造兵學生ヲ命ス(一四日海軍省)

海軍屬 近藤 清

海軍省軍務局附ヲ命ス(二十日海軍省)

海軍少佐 松岡 龍雄

第一課勤務ヲ命ス(二十日海軍省軍務局)

海軍主計大尉 桑原 秀雄

會計課兼研究部勤務ヲ命ス(十八日海軍技術研究所)

## ○雜款

○第九驅逐隊(桑、樺、楨、椿)行動豫定

地名	着	發
佐世保		四月二十三日
大島	四月二十四日	二十五日
多度津	二十五日	二十六日
大阪	二十七日	二十八日
鳥羽	五月二日	三日
横須賀	四日	五日

○郵便物發送先

第九驅逐隊(桑、樺、楨、椿)宛

四月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

同 三十日迄ニ 大阪築港郵便局氣付

其ノ後ハ 横須賀

軍艦龍田宛

四月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

同 二十八日迄ニ 同 米之津

海軍公報 第三七三七號 大正十四年四月二十一日

三九七

0435

五月 四 日迄ニ同  
同 六 日迄ニ同  
其ノ後ハ  
日 奈 久  
米 之 津  
佐 世 保

○郵便物發送先變更(四月二十日  
本欄参照)  
軍額日向宛

五月 十 日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保  
其ノ後ハ 吳

○着任、退廳

新 海軍政務次官 武内作平 四月二十一日着任  
舊 同 秦 豊助 同 退廳

豫備役海軍大尉正七位勳六等清水昌彦三月九日死  
去、葬儀ハ途中葬列ヲ廢シ來ルニ二十六日午後二時  
東京市深川區龜井町法乘院(市電黒龜橋下車)ニ  
於テ佛式ニ依リ執行

○訂正

本月十七日公報雜款欄第十七欄逐隊行動豫定及郵便物  
發送先中「五月」トアルヲ「四月」ニ訂正ス

○正誤  
三月三十一日公報辭令欄中休職海軍技手河越重次郎ハ  
休職海軍書記河越重次郎、四月一日公報辭令欄中森下  
秋二ノ上給月俸七拾五圓ハ給六級俸ノ孰レモ誤

0436



【馬公】駒橋

□潜呂三三、潜呂二九、潜呂三〇

【高雄】□松、梨、竹、榎

【鎮海】□檜、桃、榎、柳

□潜呂三三

【仁川】□陸奥、山城、日向、扶桑、▽鬼怒、大井

▽天龍、▽迅鯨、常磐、若宮

□驅一八、驅一六、驅一二、驅一〇、□藤

萩、薄、葛、□驅六、驅二、驅八、

□潜呂五九、潜呂五八、潜呂五七、

□潜呂五五、潜呂五四、潜呂五六

□掃二、掃三、掃一

間宮

【旅順】□桐、樺、櫻、橘

【青島】□霧島、▽名取、長良、由良、川内、

▽五十鈴、▽長鯨

□波風、沼風、驅一、野風、□驅七、驅三、

驅五、驅九、□太刀風、帆風、羽風、

秋風、

□潜呂六〇、潜呂六一、潜呂六二、

□潜呂二八、潜呂二六、潜伊五一

【南洋群島】夕張

【モンヤ】磯風、天津風、濱風

【亞港】□時津風、大泊、膠州

【漢口】□安宅、隅田、保津

【長沙】島羽

【宜昌】比良、伏見

【重慶】壘田

【サンペト】佐多

【航海中】

鳴戸（九日横須賀發—桑港へ）

滿州（十五日横須賀發—「ウルシイ」へ）

對馬（十六日大湊發—漢口へ）

早瀬（十六日桑港發—「ホノルル」へ）

神威（十六日「ホノルル」發—「ヤルト」へ）

勢多（十七日漢口發—上海へ）

石廊（十七日「タラカン」發—徳山へ）

野島（十九日舞鶴發—佐世保へ）

嵯峨（二十日漢口發—長沙へ）

矢矧（二十日西戸崎發—吳へ）

（部内限三頁）

0438

# 海軍公報

第三千七百三十八號

大正十四年四月二十二日(水)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第一四三九號  
今般特務艦隱后ト横濱郵便局間ニ郵便物閉塞ヲ換フ開  
始致候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ軍艦郵便ト米書ノ上  
同艦内地發ノ日ヨリ桑港發迄ノ期間横濱郵便局氣付ト  
セラレ度

大正十四年四月二十二日

海軍省副官 寺 島 健

經豫第二五四號

大正十四年四月二十二日

海軍省經理局長 深 水 貞 吉

支出官事務規程第二十條ノ外國貨幣換算率表ノ一(金  
貨幣ノ部)中換國ノ分左ノ通改ム  
右通知ス

追テ「クローネ」ヲ以テ支拂ヲ要スルモノニ付テハ

海軍公報 第三七三八號 大正十四年四月二十二日

從來ノ換算價格ニ據ルモノトス

國 名	貨 名	稱 幣	單 位	日本金貨ニ換算價格
國 志	一	一	一	〇.二八二

## ○辭令

(各通)	海軍法務官	山田 三郎
(各通)	高等軍法會議檢察官ヲ命ス	杉山 義太郎
(各通)	高等軍法會議豫審官ヲ命ス	吉村 幹三郎
(各通)	東京軍法會議檢察官ヲ命ス	島 田 清
(各通)	東京軍法會議豫審官ヲ命ス	吉村 幹三郎
(各通)	東京軍法會議豫審官ヲ命ス	尾畑 義郎
(各通)	東京軍法會議豫審官ヲ命ス	島 田 清
(各通)	海軍法務官試補實務修習試驗委員長ヲ命ス	山田 三郎

0439

(各通) 同 吉村幹三郎 島田清

海軍法務官試補實務修習試験委員ヲ命ス(以上<sup>三〇</sup>海軍省)

(各通) 海軍機關大佐 黒田琢磨  
海軍機關中佐 古市龍雄  
購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上<sup>三〇</sup>海軍省)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先變更(四月二十日) (本欄参照)

第一掃海隊(掃一、掃二、掃三)宛  
四月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保  
其ノ後ハ 横須賀

○ 採用試験問題  
第七期普通科航空工術練習生採用試験問題四月十四日  
發送濟ニ付未着ノ向ハ申出アリタシ  
尙試験期日ハ五月八日ナリ  
(霞ヶ浦海軍航空隊)

○ 事務所設置  
那珂巖裝具事務所ヲ横濱船渠株式會社内ニ本月二十日  
設置セリ

0440





【長崎】古鷹

【馬公】駒橋

【高雄】  
□潜呂三三、潜呂二九、潜呂三〇

【鎮海】  
□檜、桃、榎

□潜呂三三

【釜山】柳

【旅順】  
□桐、樺、櫻、橘

【南洋群島】夕張

【モシヤ】磯風、天津風、濱風

【亞港】  
□時津風、大泊、膠州

【上海】  
□勢多

【漢口】  
□安宅、隅田、保津

【長沙】  
□鳥羽、嵯峨

【宜昌】  
□比良、伏見

【重慶】  
□堅田

【航海中】

鳴戸 (九日横須賀發—桑港へ)

滿州 (十五日横須賀發—「ウルシイ」へ)

對馬 (十六日大治發—漢口へ)

早鞆 (十六日桑港發—「ホノルル」へ)

神威 (十六日「ホノルル」發—「ヤマト」へ)

石廊 (十七日「タラカン」發—徳山へ)

口陸奥、山城、日向、扶桑、▽鬼怒、大井、▽天龍、

□驅一八、驅一六、驅二二、驅一〇、▽迅鯨、□潜呂五九、

潜呂五八、潜呂五七、□潜呂五五、潜呂五四、

潜呂五六、常磐、若宮、間宮 (二十一日仁川發—

佐世保へ)

□藤、萩、薄、葛、□驅六、驅二、驅八、□掃二、

掃三、掃一 (二十一日仁川發—徳山へ)

□霧島、▽名取、長良、由良、川内、▽五十鈴、□波風、

沼風、驅一、野風、□驅七、驅三、驅五、驅九、

□太刀風、帆風、羽風、秋風、▽長鯨、□潜呂六〇、

潜呂六一、潜呂六二、□潜呂二八、潜呂二六、

潜伊五一 (二十一日青島發—佐世保へ)

高崎 (二十一日吳發—佐世保へ)

佐多 (二十一日「サンペドロ」發—桑港へ)

(部内限一頁、同別表一葉)

0442

# 海軍公報

第三千七百二十九號

海軍大臣官房

大正十四年四月二十三日(木)

## ○令達

官房第一四五四號

雇員傭人給與規則第十條ニ依リ航海増給ヲ受クル者ニハ其ノ増給ニ對シ海軍臨時増給支給規則ニ準シ臨時増給ヲ支給ス

本號ハ大正十四年一月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

大正十四年四月二十三日

海軍大臣 財部 彪

## ○通牒

經給第三一號

大正十四年四月二十三日

海軍省經理局長 深水貞吉

關係各廳御中

臨時増給支給ニ關スル件

海軍臨時増給支給規則ニ依ル増給支給ニ關シテハ香港ハ支那ト同様ニ取扱相成度  
右通知ス

## ○辭令

第一課附ヲ命ス(四十四)海軍省軍務局) 海軍屬 近藤 清

海軍省人事局ニ於ケル事務ヲ囑託ス 從七位勳六等 鈴木軍左衛門

但シ報酬月額金四十五圓五十錢ヲ給シ部内限列任官待遇トス(四十五)海軍省人事局) 海軍機關少佐 小畑 愛喜

兼第三課勤務ヲ命ス(三十二)海軍省教育局) 海軍少佐 少路 虎三郎

第一課勤務ヲ命ス(四四)海軍省軍需局) 海軍兵曹長 松田 仁三郎

第一課勤務ヲ命ス(四三)同) 海軍兵曹長 松田 仁三郎

兼研究部附ヲ命ス(四二)海軍技術研究所) 海軍技手 森 茂

海軍公報 第三七三九號

大正十四年四月二十三日

四〇五

0443

○雜款

○軍艦進水  
吳海軍工廠ニ於テ建造ノ軍艦赤城四月二十二日午前九時進水セリ

○郵便物發送先  
呂號第六十四潜水艦宛  
四月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 神戸  
其ノ後ハ 佐世保

○事務所撤去  
呂號第六十四潜水艦鑛裝具事務所ヲ神戸三菱造船所内ニ設置中ノ處本月三十日撤去ス

海軍軍醫中將從四位勳三等鈴木寬之助本月二十二日卒去、來ル二十五日午後一時半横須賀市濕ヶ谷官舎甲四號出棺同二時横須賀水交支社ニ於テ佛式ニ依テ海軍葬儀執行

○正誤  
四月十六日經給第二七號臨時增給支給ニ關スル件申「之ヲ支給」ハ「之ヲ増給」ノ誤

0444

○艦船所在

△印(ハハカシ)

○四月二十三日午前十時調

【橋須賀】 加賀、千早、筑摩、榛名△、北上、磐手△、

日進、八雲、鳳翔、長門、阿蘇、金剛△、

△汐風、灘風、島風、夕風、白露、三日月、

浦風

潜波一、潜波二、潜波九、潜波一〇、

△潜呂一三、潜呂一一、潜呂一二、

△潜呂二一、潜呂二〇、潜呂二三

△神風、夕立、夕暮、初霜、如月、霧

洲崎、朝日、武藏、尻矢、富士、青島

【石川島】 驅一三

【横濱】 那珂

【浦賀】 阿武隈、驅一一

【大湊】 △矢風、澤風、峯風、沖風

【吳】 △赤城、明石、千歲、木曾、球磨、多摩、

平戸、伊勢、淀、淺間、勝力、矢矧、

韓崎、比叡△

△谷風、菊、江風、葵

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、△潜呂五三、潜呂五一、

△潜呂一四、潜呂一六、潜呂一五、

△潜呂一七、潜呂一八、潜呂一九、

潜呂六三、潜呂五二、潜伊五二、

△浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、

野間、能登呂、室戸、大和、攝津、

隱戸

【大 阪】 驅二七

【神 戶】 神通、加古

潜呂三一、潜呂六四、潜伊一、潜伊二、

潜呂六八

【德 山】 △掃二、掃三、掃一

【舞 鶴】 △吾妻、利根、春日

【佐世保】 最上△、宇治、出雲、龍田

△楓、楠、桂、梅、△杉、松、榊、柏、

△梅、栗、柿、楡、△蓬、蓮、蓼、△豚、

△荳、菱、葦、△桑、椿△、榎△、楨△、

驅一七、驅四△、驅一五

潜呂一、潜呂二、潜呂二四、潜呂二五、

△潜呂三、潜呂四、潜呂五

△春風、朝風、潮、子日、若葉、初雪、

掃四

△敷島△、襟裳△、知床△、鶴見、高崎

【長 崎】 古鷹

【馬 公】 △駒橋

△樅、梨、竹、楯

0445



# 海軍公報

第三千七百四十號

大正十四年四月二十四日(金)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第一四七七號

大正十四年四月二十四日

海軍次官 大角 岑 生

在京各廳長殿

今般靖國神社臨時大祭及例大祭舉行相成候ニ付テハ在京諸官ハ左記ニ據ル儀ト御承知相成度右通牒ス

記(四月二十四日官報掲載)  
(祭式次第書抜萃)

四月二十七日(招魂式)

午後八時 在京官衙學校勅委任官各總代及判任官各

總代(官衙學校ノ長之ヲ指定ス) 式場ニ參著

服裝 正裝 大禮服 判任官ハ軍裝 適當禮服

四月二十八日(臨時大祭 第一日ノ儀)

午前八時三十分 海軍大臣、士官、特務士官及高等文

官拜殿ニ參著

服裝 正裝 大禮服

午前九時三十分ヨリ陸海軍參拜隊參拜(陸軍海軍ノ順)海軍參拜隊ニ續テ海軍生徒參拜

四月二十九日(臨時大祭 第二日ノ儀)

午前九時三十分 海軍大臣、海軍省各局、在京官衙學校勅任官各總代及委任官各總代(各部ノ長之ヲ指定ス)拜殿ニ參

著 服裝 正裝 大禮服

四月三十日(例大祭 當日ノ儀)

午前八時三十分 海軍大臣、海軍省各局、在京官衙學校勅任官各總代及委任官各總代(各部ノ長之ヲ指定ス)拜殿ニ參

著 服裝 正裝 大禮服

## ○辭令

從七位 塚田 政雄

吳海軍工廠職工教習所造兵職工講習所教務ヲ囑託ス

但報酬月額百五十拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス(四月海軍省)

海軍公報 第三七四〇號 大正十四年四月二十四日

四〇九

0447  
0447

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

特務艦間宮宛

四月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保

其ノ後ハ 吳

○ 事務所設置

第二十七號驅逐艦艇裝具事務所ヲ大阪藤永田造船所内ニ設置シ本月二十日ヨリ事務ヲ開始セリ

○ 殘務整理

練習艦隊殘務整理ハ本月二十三日終了セリ

0448



○艦船所在

▲印ハハノシキヲ  
指定ヲ要セズ

○四月二十四日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、北上、磐手、  
日進、八雲、鳳翔、長門、金剛、  
▽沙風、濰風、島風、夕風、白雲、三月月、  
浦風

浦風

▽潜波一、潜波二、潜波九、潜波一〇、  
▽潜呂二二、潜呂二一、潜呂二二、  
▽潜呂二一、潜呂二〇、潜呂二三

▽神風、夕立、夕暮、初霜、如月、春

洲崎、朝日、尻矢、富士、青島

【石川島】

那珂

【横濱】

阿武隈、驅一一

【浦賀】

▽矢風、澤風、峯風、沖風

【大湊】

赤城、明石、千歳、木曾、球磨、多摩、  
平戸、伊勢、淀、淺間、勝力、矢矧、  
韓崎、比叡

【吳】

▽谷風、江風、葵、▽驅六、驅二、萩

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、  
潜波七、潜波八、▽潜呂五三、潜呂五一、  
▽潜呂一四、潜呂一六、潜呂一五、  
▽潜呂一七、潜呂一八、潜呂一九

潜呂六三、潜呂五二、潜伊五二、  
潜呂二八、潜呂二六、潜呂二七、  
潜伊五一

▽浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、  
野間、能登呂、室戸、大和、攝津、  
瀬戸

▽神月、驅二七

▽神通、加古

潜呂三一、潜呂六四、潜伊一、潜伊二、  
潜呂六八

▽野島

▽香妻、利根、春日

▽佐世保、最上、宇治、出雲、龍田、▽霧島、  
▽名取、長良、由良、川内、山城、日向、  
常磐、若宮

▽楓、楠、桂、梅、▽杉、松、榊、柏、  
▽榊、栗、柿、楡、▽蓬、蓮、蓼、▽葦、  
▽萩、蕙、菱、驅一七、驅四、驅一五、  
潜呂一、潜呂二、潜呂二四、潜呂二五、  
潜呂三、潜呂四、潜呂五、▽潜呂六〇、  
潜呂六一、潜呂六二

▽春風、朝風、潮、子日、若葉、初雪、  
▽掃四

▽敷島、樺葉、知床、鶴見、高崎、間宮

0449

【長崎】古鷹

【馬公】駒橋

區樅、梨、竹、樞

區潛呂三三、潛呂二九、潛呂三〇

區鎮海、區檜、桃、櫻、柳

區青島、區桐、樺、櫻、橘

【南洋群島】夕張

【亞港】區時津風、磯風、天津風、濱風

大泊、膠州

【上海】勢多

【漢口】安宅、隅田、保津、對馬

【長沙】嵯峨、鳥羽

【宜昌】比良、伏見

【重慶】堅田

【航海中】

鳴戸（九日横須賀發—桑港へ）

滿州（十五日横須賀發—「ウルシイ」へ）

早瀬（十六日桑港發—「ホルル」へ）

神威（十六日「ホルル」發—「ヤルト」へ）

石廊（十七日「タラカン」發—徳山へ）

佐多（二十一日「サンペドロ」發—桑港へ）

武藏（二十一日横須賀發—大湊へ）

松江（二十二日二見發—「サイパン」へ）

劍崎（二十三日徳山發—舞鶴へ）

口陸奥、區波風、沼風、彌一、野風、（二十三日佐世保發—沼津へ）

區鬼怒、大井、扶桑、区天龍、區一八、區一六、區二二、區一〇、区長鯨（二十三日佐世保發—吳へ）

区五十鈴、區七、區三、區五、區九、区太刀風、帆風、羽風、秋風、区迅鯨、区潛呂五九、潛呂五八、

潛呂五七、區潛呂五五、潛呂五四、潛呂五六、區掃二、

掃三、掃一（二十三日佐世保發—横須賀へ）

區八（二十三日徳山發—吳へ）

阿蘇（二十三日横須賀發）

區桑、樺、檜（二十三日佐世保發—大三島へ）

區山風、海風、櫻（二十三日秋發—舞鶴へ）

菊（二十三日吳發—高濱へ）

區藤、薄、蕨（二十四日徳山發—吳へ）

（部内限一頁）

0450

# 海軍公報

第三千七百四十一號

大正十四年四月二十五日(土)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第一四八六號

大正十三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十四年四月二十五日

海軍大臣 財部 彪

歳出經常部

款	項	目	節	解 疏	會計科目 電信略號
(軍事費)	(雜給及 雜費)	(外國在勤者 家族旅費)	外國在勤者 家族旅費		トヲ

軍費、艦營費、雜給及雜費、備給ノ解疏中「雇員給  
備人料」ノ次ニ「大正十四年官房第一四五四號ニ依ル  
臨時増給」ヲ加フ

官房第一四八七號

大正十四年度歳出科目軍事費、艦營費、雜給及雜費、備  
給ノ解疏中「雇員給備人料」ノ次ニ「大正十四年官房  
第一四五四號ニ依ル臨時増給」ヲ入ル

大正十四年四月二十五日

海軍大臣 財部 彪

## ○辭令

○大正十四年四月二十五日

(各通)

任海軍技手  
給六級俸

(各通)

妹尾 要太郎  
高本 言 惠  
住田 菊 男  
小林 潔  
大橋 三 男  
下里 統一郎  
濱田 龜之丞  
小田 盛 吉

海軍公報 第三七四一號

大正十四年四月二十五日

四一三

0451

任海軍技手  
給月俸七拾圓

(各通)

任海軍技手  
給七級俸

屋鋪 新一  
山本實三郎

海軍技手

(各通)

吳海軍工廠附ヲ命ス

(各通)

橫須賀海軍工廠附ヲ命ス

吳海軍工廠勤務ヲ命ス(以上海軍省)

妹尾 要太郎

高本 言惠

住田 菊男

小林 潔

濱田 龜之丞

小田 盛吉

山本 實三郎

大橋 三男

下里 紋一郎

屋鋪 新一

○ 雜 款

○ 總代

來ル四月二十七日靖國神社ニ於テ招魂式執行ニ付海軍省勅奏任官並判任官總代トシテ同日午後八時式場ニ參列スヘキ旨左記諸官へ通達セラレタリ

海軍省勅奏任官總代 海軍少將 左近 司政三  
同 判任官總代 海軍 屬 森 田 勇 介

○ 郵便物發送先

第二十五潜水隊(呂二九潛、呂三〇潛)宛

五月二日以後當分ノ間 佐 世 保

○ 電話架設

牛込 五九一〇番

海軍軍令部出仕兼參謀

海軍少將 井 出 光 輝

牛込區矢來町十一  
ろノ二〇

0452

○艦船所在

△印ニハホク  
指定ヲ要セス

○四月二十五日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、北上、磐手、日進、八雲、鳳翔、長門、金剛、  
区汐風、灘風、島風、夕風、白露、三日月、浦風

浦風

潜波一、潜波二、潜波九、潜波一〇、  
区潜吕三三、潜吕一一、潜吕二二、  
区潜吕二二、潜吕二〇、潜吕二二

区神風

夕立、夕暮、初霜、如月、響洲崎、朝日、尻矢、富士、青島

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

区神風

海軍公報 第三七四一號 大正十四年四月二十五日

四一五

0453

潜呂六一、潜呂六二  
 口春風、朝風、潮、子日、若葉、初雪、掃四  
 敷島、襟裳、知床、鶴見、高崎、間宮  
 【長崎】古鷹  
 【馬公】駒橋  
 口潜呂三三、潜呂一九、潜呂三〇  
 【鎮海】口檜、桃、榎、柳  
 口潜呂二三  
 【龍津群島】夕張  
 【龍港】口時津風、磯風、天津風、濱風、大泊、膠州  
 【上海】勢多  
 【漢口】口安宅、隅田、保津、對馬  
 【長沙】口饒峨、鳥羽  
 【宜昌】口比良、伏見  
 【重慶】口堅田  
 【桑港】佐多

【航海中】  
 鳴月（九日横須賀發—桑港へ）  
 潮州（十五日横須賀發—「ウルシイ」へ）  
 早瀬（十六日桑港發—「ホノルル」へ）  
 神威（十六日「ホノルル」發—「ヤマト」へ）

石廊（十七日「タラカン」發—徳山へ）  
 武藏（二十一日横須賀發—大湊へ）  
 松江（二十二日二見發—「サイパン」へ）  
 劍崎（二十三日徳山發—舞鶴へ）  
 口陸奥、口波風、沼風、驅一、野風、（二十三日佐世保發—沼津へ）  
 扶桑（二十三日佐世保發—吳へ）  
 口五十鈴、口驅七、驅三、驅五、驅九、口太刀風、帆風、羽風、秋風、口迅鯨、口潜呂五九、潜呂五八、潜呂五七、口潜呂五五、潜呂五四、潜呂五六、口掃二、掃三、掃一（二十三日佐世保發—横須賀へ）  
 阿蘇（二十三日横須賀發）  
 菊（二十三日吳發—高濱へ）  
 口桐、樺、櫻、橘（二十四日青島發—旅順へ）  
 口樅、梨、竹、榎（二十四日馬公發—汕頭へ）

（部内限ナシ）

0000

0454